

日付		入院当日	手術当日			術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後7日目	術後	退院日	退院後初回外来
			術前	術中	術後							
目標		①膝の痛み、腫脹、膝の関節可動域制限による日常生活	④良肢位の保持ができています。膝の屈曲、拳上、外旋禁、腓骨神経圧迫しな									
		②病態・治療の理解ができる	⑤知覚、自動運動が回復した									
		③手術の必要性とリスクを理解できる	⑥呼吸困難、頭痛、嘔気・嘔吐がない									
			⑦出血・疼痛がコントロールされている									
看護計画	#1				周手術期に伴う身体侵襲							
	#2				人工関節置換術後合併症出現の危険性がある(創感染、疼痛、出血)							
	#3				セルフケア不足							
	#4				転倒、転落の可能性							
	#5				褥瘡のハイリスク状態							
医師・看護師		・主治医が挨拶にきます ・退院予定日に帰れるように援助していきます ・介護保険の申請についてお伺いします				痛みの軽減を図る	痛みの軽減を図りながら介助で車椅子に移動できる	退院に向けて家の調整をしていきます		退院に対して不安なことがあれば声をかけて下さい		
説明・指導		・担当看護師が今回の入院について説明します ・食事について説明します ・手術前の注意事項を説明します		・医師が手術部位のマーキングをします ・手術着に着替えます ・義歯・装飾品を外す、化粧落とす、爪を綺麗にする等をお願いします		痛みがあるときは我慢しないで医師または看護師に声をかけて下さい				<確認事項です> ・ご自宅はベッドですか？(はい:いいえ) ・トイレと浴室に手すりはありますか？(はい:いいえ) ・浴室に椅子はありますか？(はい:いいえ)		
血圧・体温		入院時に測ります										
安静度			点滴を開始してもトイレは行けます		術後はベッド上安静になります 適宜体位交換を行います	車椅子に移ります ※足を地面についても良いです <リハビリ開始> 平行棒を使って歩行訓練します	歩行器で歩行します		立ち上がり歩行器での歩行が開始します	T字杖での歩行となります		
治療			手術のために点滴を行います 入室したら麻酔科の先生と看護師から指示があります		回復室で麻酔を醒ましてから病室に戻ります。術後、輸血をすることがあります	点滴で痛みどめを継続して行っています						
検査					心電図と酸素マスク、血栓予防のためにポンプを付けます 手術後、足・首の確認をするためにレントゲンを撮ります		朝、採血があります			朝9時ごろ採血に伺います 午後から順番でエコーがあります	午後から順番でレントゲンがあります	朝9時ごろ採血に伺います
内服薬		内服を継続するかどうかの指示があります 現在飲んでいる内服薬の確認をします ( / )からの服用を中止してください				痛みどめ(炎症を抑える)と胃薬を内服してください				痛みどめがなくなります まだ痛みがある場合は医師または看護師に声をかけてください		
処置・ケア						傷口から出血がでてくるときは医師または看護師に声をかけてください	朝医師がベッド上で傷のガーゼをとりテープ式の保護剤を貼付します 弾性包帯を巻いてクーリングして腫れを押しえます	夜間～朝にかけて痛みがあり眠れないときは看護師に相談してください			抜糸します。	
食事		夕食がでます 食事は 時までですませてください 飲水は 時以降禁止です			術後の経過は異なりますが、術後3時間より飲水が摂取できます 麻酔と痛みどめの影響での違和感と吐き気が出現する場合があります	吐き気がある場合は看護師にお声掛けください 朝から食事は出ます。			食事の際はベッドから足を垂らして摂取していきましょう			
排泄				尿管を挿入します			尿管を抜きます 車椅子でトイレに行きます					
清潔						身体を拭いて着替えます				傷口から出血がなければシャワー浴開始します		